



マッシー川口の

from New York

「オンラインで日用食料品を買う」の巻

ハロー、オゲンキ？ こちらは厳冬の日が続いて雪も降ったけど、マイナス15度でも忍者のように顔を覆い、イーストビレッジにオープンした本場たこ焼き屋「おたふく」まで歩いて食べに行ってしまう。6つで4ドル75セントのオクトパスボール（英訳）は、LAタイムズやNYタイムズの記事でも紹介され、アメリカ人にも人気の。^^）；

やっぱり食べ物をオンラインで買うことは少ないわね。と、思っている、最近アメリカではオンラインで格安チケットや新車販売をしている「プライスライン・ドットコム」(Priceline.com)で、グローサリー（食料品）を買うのが大人気なのよ。

「NAME YOUR OWN PRICE!」（あなたが値段を決めて下さい）というこのサイトのポスターがマンハッタンを走るバスにもでかでかと貼られ、テレビCMではこの会社の株主でもある元「スタートレック」のカーク船長役のウィリアム・シャトナー氏が、自らフォークシンガー風にギターのかじり語りをする大宣伝で話題を呼んでるの。日本のニュースでも紹介されたからご存知の方も多いわね。きっと。

そんなわけで、自分でビッド（取引）して値段を決めるのはちょっと面倒くさいかもと思いつつ、私も挑戦してみたヨ。よくあるオンラインで購入する宅配サービスとは根本的に違うアイデアだったので興味シンシン。

やり方は意外と簡単。まずはサイトで登録のための情報を入力してプライスライン専用のカードを送ってもらう。カードは約1週間に到着。そして、今度はプライスラインのグローサリーサイトで商品を選ぶ。普通のスーパー1軒分以上の商品があるので、いろいろ選べて感動したよ。その際、1回目はすべて半額でしかも10ドル分のクーポン付き。2回目からは肉類だけはすべて半額で、そのほかの商品は自分で値段を決めるの。たとえば牛乳ならA社がB社がいいというように、自分の欲しい銘柄をあらかじめ選んでおく。次に、それぞれの品物の最大値引き価格である半額をはじめ、いくつか用意されている価格をクリックすると、その値段で買える銘柄がある場合は「YES」（おめでとう）、無い場合は「Sorry」（残念でした）と答えが出る。少しづつ価格を調整しながらゲーム感覚で買い物できるから結構楽しいよ。これは鋭い。@@）

私は試しに以下の商品を買ってみた。（ ）内の値段はスーパーの通常販売価格。卵12個で77セント（1ドル89セント）、ポークチョップ480グラムは2ドル62セント（6ドル47セント）、ダイエットコークの缶を12個で1ドル47セント（5ドル98セント）、アップルジュースの大瓶が1ドル20セント（2ドル99セント）、トイレトペーパー4ロールは1ドル42セント（3ドル59セント）、ゴム袋（40枚入り）は

カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役（声優）としても活躍。

Jump masshy.com



3ドル60セント（8ドル58セント）など。プライスラインの方がすごく安いのがわかるでしょ？

サイトで欲しい商品をかごに入れていって、最後に「チェックアウト」したらそれをプリントアウトして、サイトにリストアップされているスーパーの中から好きなところに行けばいいというしくみ。期限はその日から約3か月以内。私は自宅から一番近いスーパーを選んで買いに行ってみた。だいたい商品はそこでゲットできたけど、残念ながら牛乳とベーコンは指定したメーカーのものがなかった。その場合は買うのをやめるか、また今度挑戦するか、その場で他のメーカーのが欲しければスーパーの通常価格で買うかを選ぶ。レジのところまでプリントアウトした紙を見せてプライスラインの緑色の専用カードを出すと、自分のクレジットカードからプライスラインのお得な価格で引き落とされるというわけ。



ところがここで問題発生！ レジの黒人女性が、どうしても私のプライスラインのカードが通らないという。「えー！？ そんなはずは……」と何度やっても同じ。「カードがまだ認識されてないんじゃないのー？」と次のお客にかかろうとする。とりあえず商品をキープしてもらい、まずはカスタマーサービスに携帯で電話してみた。「しばらくお待ち下さい。すぐに担当の者が出来ます」という女性の声と音楽の録音テープの繰り返しにイライラがつのる。30分待っても応答なし。あきらめてカードが認識されているかどうかをプッシュホンでチェックしたら、カードはアクティブ済みでちゃんと通っていた。おかしい、なぜだ？

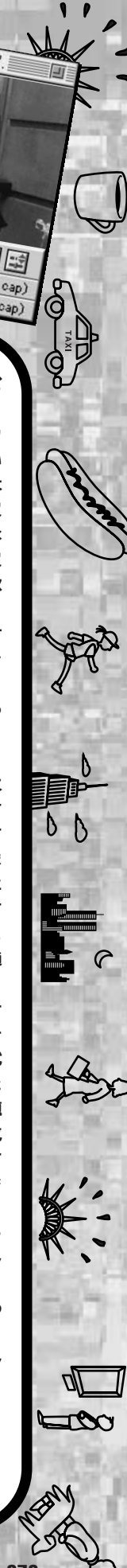
再度レジに戻って、また長い列の後ろに並び、いつも思うことだけどアメリカはなんてレジが遅いんだろう！ ムカツ。日本の素早くテキパキしたレジが本当に恋しい。6人待ちでようやく再度カードを試そうとした時、レジの女性は「もう1人、プライスラインを使おうとした人もだめだったので、どうもうちのスーパーのコンピュータの問題らしいのよ。他のスーパーに行ってみてくれる？」ガクッ。そこで気を取り直して、歩いて5分先にあるリスト上の別のスーパーに行ってみてみた。さっきと同じようにカゴに商品を入れて、レジでカードを出したら今度はOK！！ すりりと通った！ なぜか充実感あり。しかも、全部で31ドルの品物は半額の15ドル50セント。さらにクーポンの10ドルオフ、加えて事前に友人のメールアドレスを5人紹介した分のクーポンもついてなんとタダであった。

これはちょっと感動！ オンラインを使うだけで、こんなに違うのなら使わない手はないよね？ チリも積もれば山となるのだ。

後日談：タダだと思ってたら、勘違いで半額分は請求されていました。やはり、世の中そう甘くはないよね。トホホ、マッシー：)

今月のおすすめサイトはココね！
 プライスラインのグローサリーのサイト——アメリカのスーパーを感じてみて！——
 Jump Webhouse.priceline.com
 プライスラインのサイト——飛行機のチケットやホテルはこちら——
 Jump travel.priceline.com

Illust: Kido Satoko





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp